

近年の主な水害(一覧)

過去5年の主な水害

災害名		河川等	特徴	備考
平成23年台風6号		新宮川	計画高水位超過	
平成23年7月新潟・福島豪雨		信濃川	計画高水位超過	
平成23年台風12号	紀伊半島大水害	新宮川	日本史上最大流量	その1
平成23年台風15号		宮川	計画高水位超過	
平成24年梅雨前線・台風4号	九州北部豪雨	矢部川	堤防決壊	その2
平成25年梅雨前線等・台風4号・台風7号		山口県老人ホーム	土砂災害	
平成25年豪雨		津和野・萩	山口県観測史上最大降雨	
平成25年台風第18号		桂川	特別警報(運用後初)	その3
平成25年台風第26号		小笠原諸島	土砂災害	その4
平成26年台風11号・台風12号・前線による豪雨	広島豪雨	広島市	土砂災害	その5
平成27年台風18号等	関東・東北豪雨	鬼怒川	堤防決壊	その6

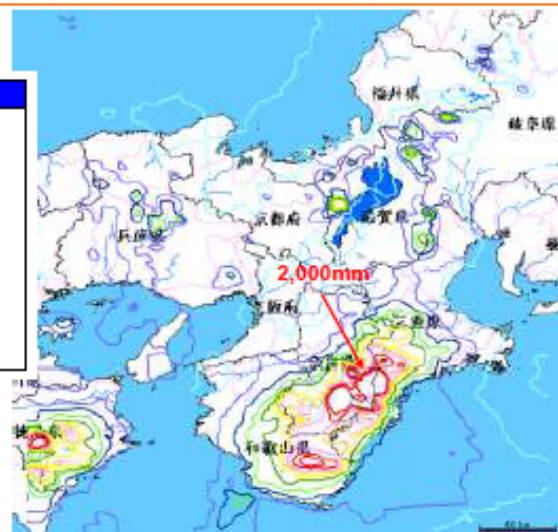
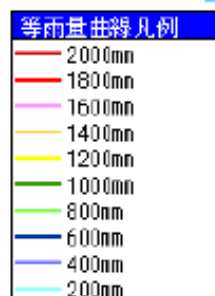
- ・計画を越える洪水や観測史上最大となる降雨が多発！！
- ・国管理区間での堤防決壊も発生！！

近年の水災害(その1)

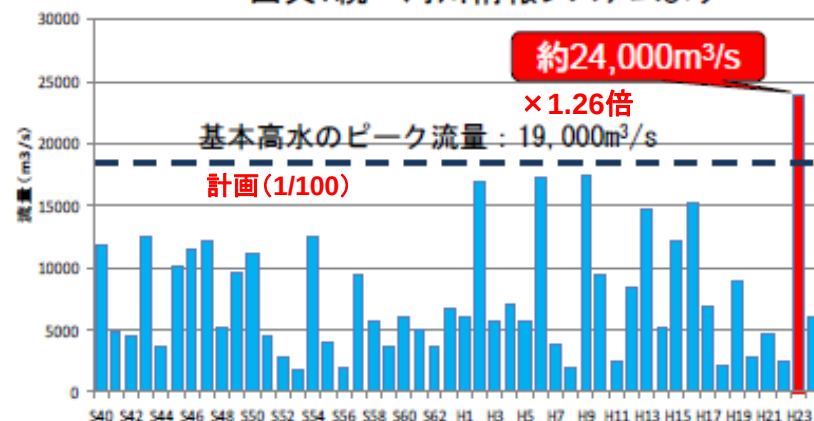
平成23年9月 台風12号(新宮川水系)

○紀伊半島の一部では総雨量2,000mmを超える大雨となり、新宮川水系では河川整備基本方針の基本高水のピーク流量を上回り、我が国の観測史上最大の流量(約24,000m³/s)を記録

雨量・流量

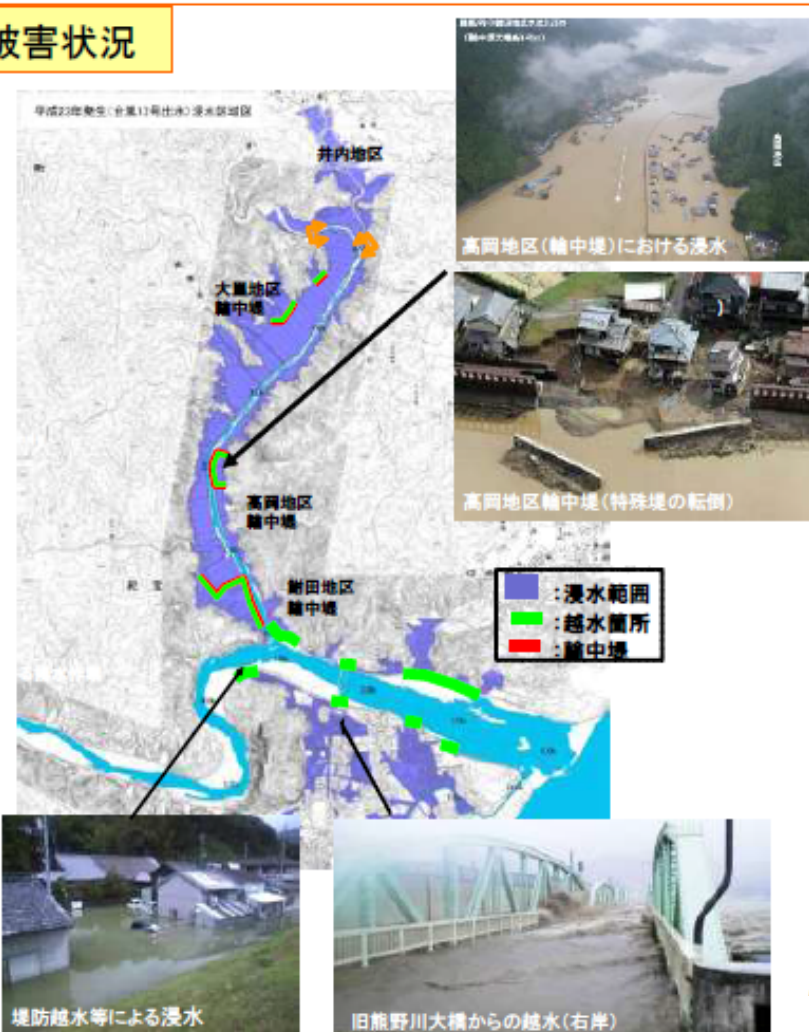


出典:統一河川情報システムより



年最大流量(相賀地点)

被害状況

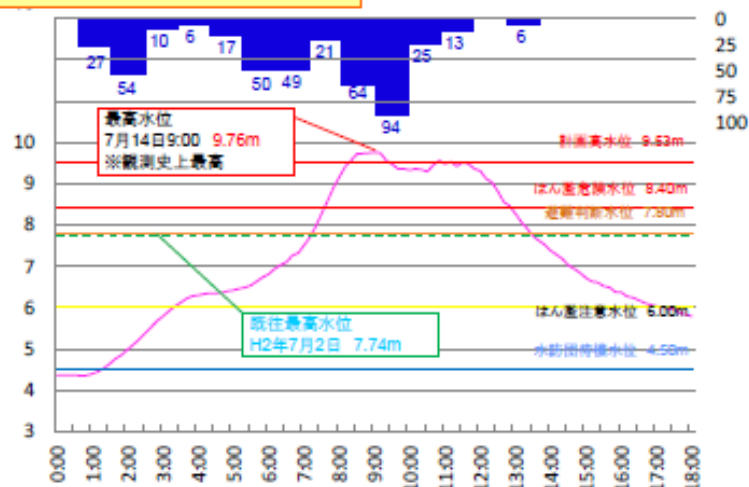


1-③.近年の水災害(その2)

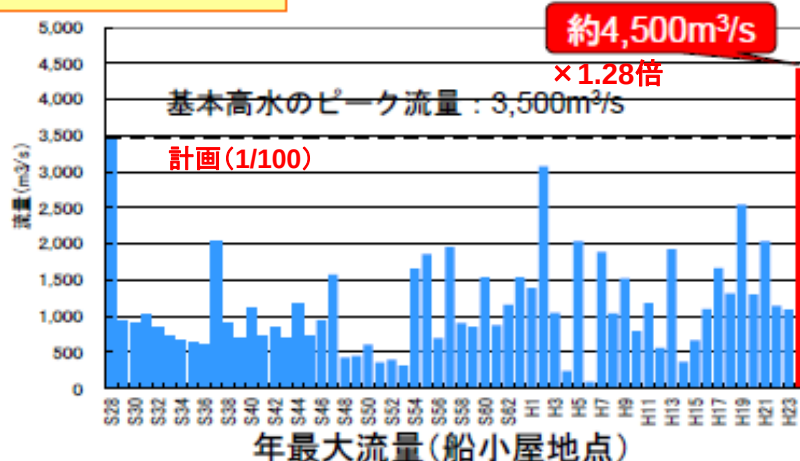
平成24年7月 九州北部豪雨(矢部川水系)

○河川整備基本方針の基本高水のピーク流量を上回る観測史上最大の流量となり、計画高水位を5時間以上超過し、基盤漏水によって堤防が決壊して広域にわたる浸水が発生

水位の状況 (船小屋)



年最大流量



主な洪水被害

- 矢部川の状況 : 国管理区間において基盤漏水により堤防が決壊(1カ所)
- 沖端川の状況 : 福岡県管理区間において越水により堤防が決壊(2カ所)
- 浸水被害 : 矢部川沿川および沖端川沿川において1,808戸の家屋・事業所等が浸水

■浸水状況



近年の水災害(その3)

平成25年9月 台風18号(京都府 桂川等)

- 台風18号の豪雨により、特に激しい大雨となった京都府、滋賀県、福井県では、運用開始以来初となる特別警報が発令
- 京都府の桂川では、観測史上最高の水位を記録し、越水による堤防決壊の危機にさらされたが、淀川上流ダム群により最大限の洪水調節が行われるとともに、懸命の水防活動により、堤防決壊という最悪の事態を回避

欄干にまで水に浸かる渡月橋



淀川上流ダム群における洪水調節

日吉ダム



天ヶ瀬ダム



ダムによる洪水調節の結果、
約1.2兆円の被害を未然に防いだと推定



近年の水災害(その4)

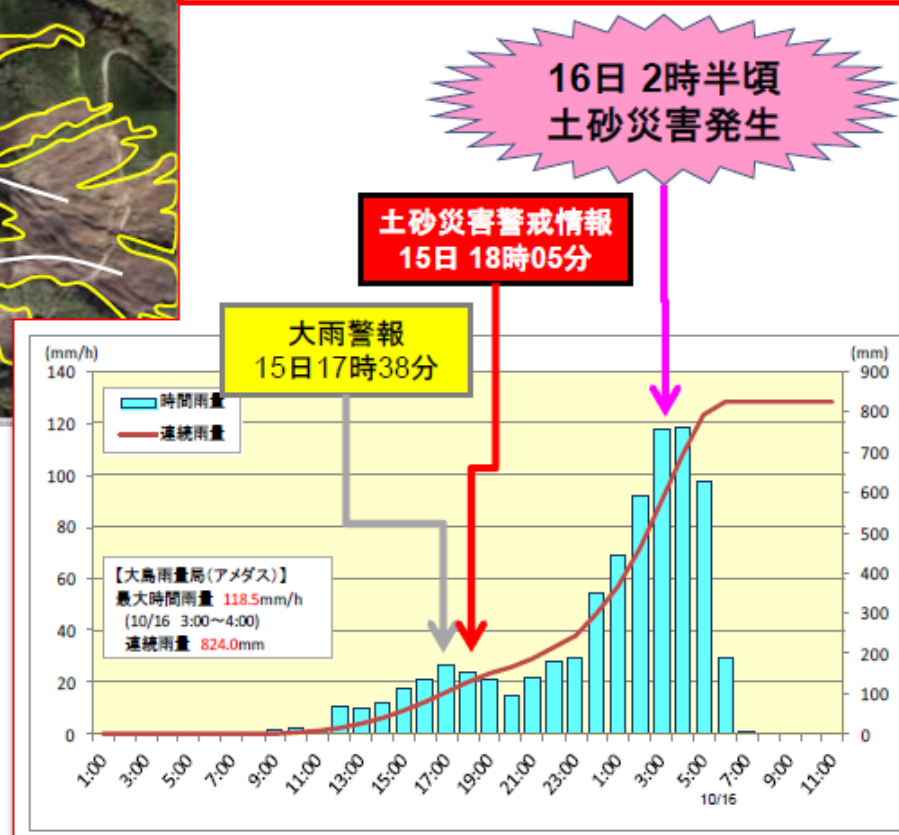
平成25年10月 台風26号(伊豆大島における土砂災害)

○伊豆大島において連続雨量が800mmを超える大雨となり、土石流が流域界を超えて流下するとともに大量に発生した流木により被害が拡大し、死者36名などの被害が発生

崩壊地および泥流到達範囲



東京都大島町における
雨量と警報等発表の経過



近年の水災害(その5)

平成26年8月 広島市の土砂災害

○バックビルディング現象により積乱雲が次々と発生し、線状降水帯を形成し、午前1時より3時間で217mmの降雨量を記録

○避難勧告が発令される前に土砂災害等が発生し、死者75名の甚大な被害

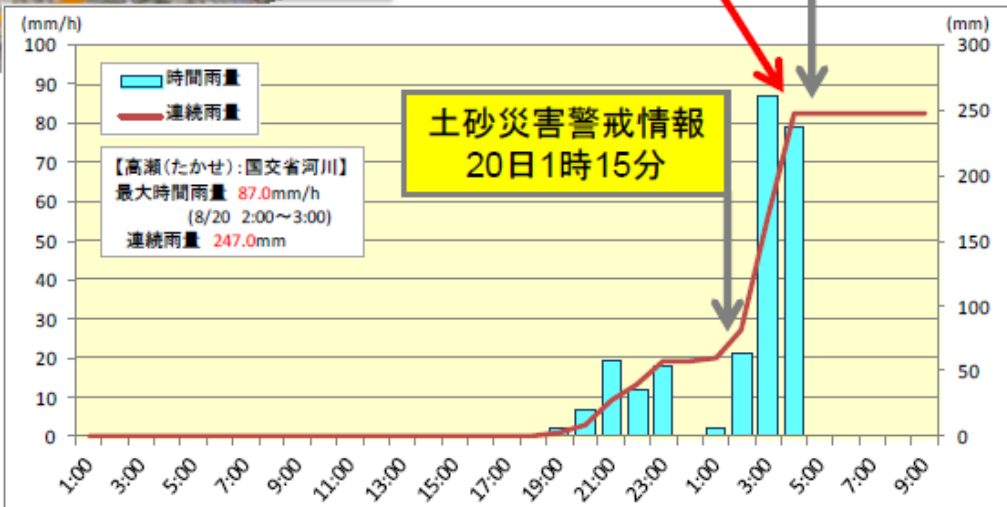


広島市安佐南区の雨量 と警報等発表の経過

土砂災害発生
20日 3時頃
～3時30分頃

避難勧告
20日4時30分
安佐南区
梅林、八木、
緑井、山本

土砂災害警戒情報
20日1時15分



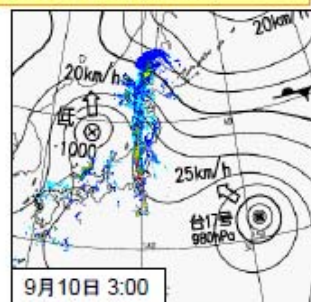
近年の水災害(その6) H27年 関東・東北豪雨(鬼怒川)

1. 降雨の概要

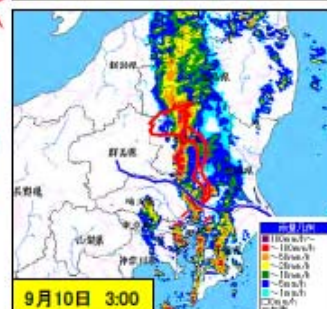
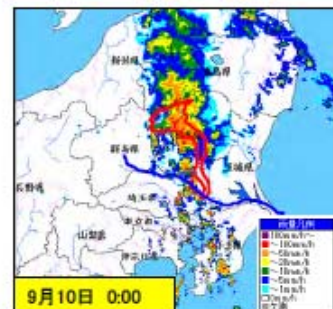
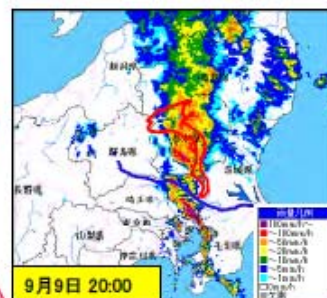
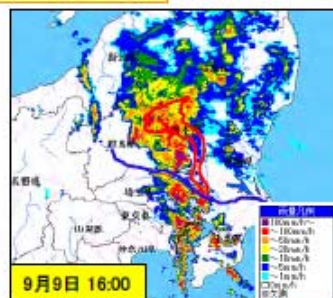
国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure and Transport Kanto Regional Development Bureau

- 台風18号及び台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、記録的な大雨となった。
- 9月9日から9月10日にかけて、栃木県日光市五十里(いかり)観測所で、昭和50年の観測開始以来、最多の24時間雨量551mmを記録するなど、各観測所で観測史上最多雨量を記録した。

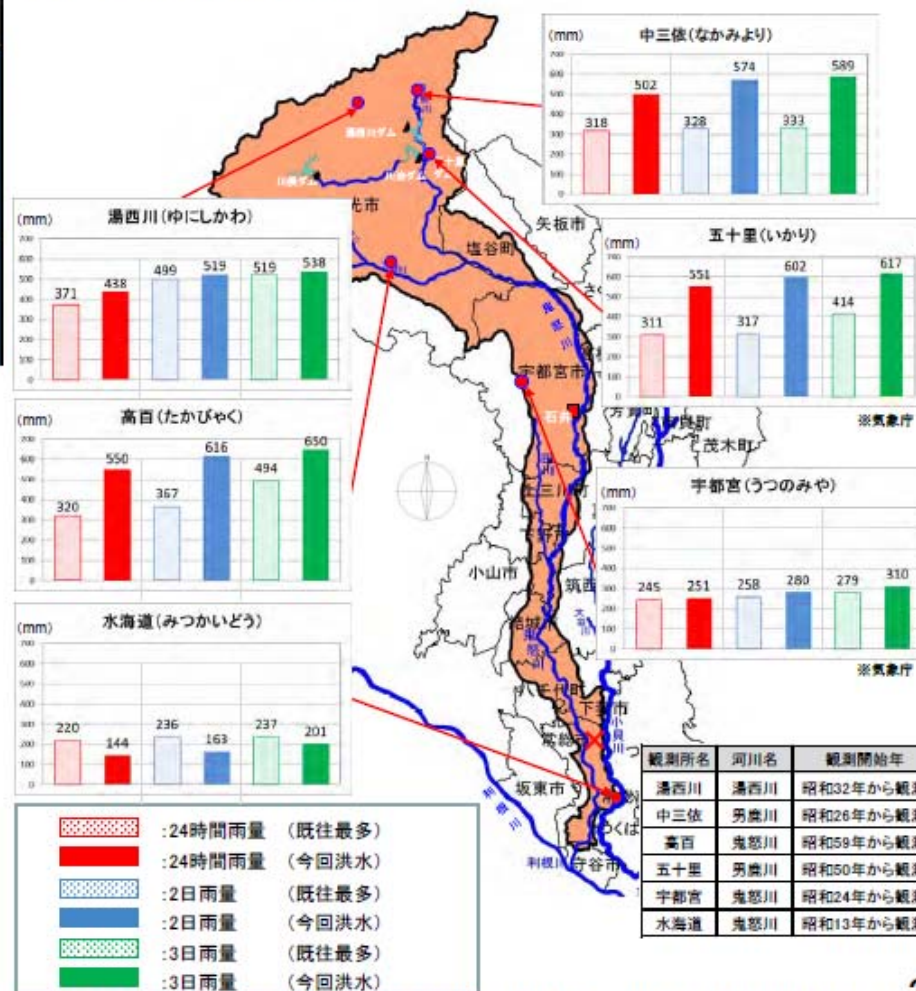
気象・降雨の概要



レーダー雨量図



等雨量線図(8日~10日累加雨量)



※平成27年9月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります。

近年の水災害(その6) H27年 関東・東北豪雨(鬼怒川)

4. 鬼怒川氾濫による被災状況(鬼怒川の被災状況)

- 宅地及び公共施設等の浸水が概ね解消するまでに10日を要した。
- 避難の遅れ等により、多くの住民が孤立し、約4,300人が救助された。

鬼怒川下流域における一般被害の状況

項目	状況等
人的被害	常総市 (死亡2名、重症3名、中等症21名、軽症20名) (10月30日16時現在)
住家被害	常総市 (全壊53、大規模半壊1,575、半壊3,475、床上浸水148、床下浸水3,072) 結城市 (大規模半壊6、半壊44、床上浸水1、床下浸水155) 筑西市 (大規模半壊68、半壊3、床下浸水18) 下妻市 (全壊1、半壊39、床上浸水16、床下浸水110) つくばみらい市 (半壊13、床上浸水1、床下浸水21)
救助者	ヘリによる救助者数 1,339人 地上部隊による救助者数 2,919人
避難指示等	①避難指示 11,230世帯、31,398人 ②避難勧告 990世帯、2,775人 (※9月24日16時現在・常総市)
避難所開設等	避難者数 7,032人 (※9月11日7時現在・常総市及び下妻市)

(茨城県災害対策本部 平成28年1月22日16時以前の発表資料より
常総市等、関連を抜粋)



自衛隊員にボートで救出された人たち
毎日新聞社



屋根からヘリコプターで救助される人
毎日新聞社

常総市役所から駐車場を撮影(撮影日:9/11)
周辺は浸水し、防災拠点の市役所も孤立化。

(ヘリ撮影日:11日15時頃)

近年の水災害(その6) H27年 関東・東北豪雨(鬼怒川)

4. 鬼怒川の氾濫による被災状況(鬼怒川の氾濫による浸水状況)

- 常総市三坂町地先(鬼怒川左岸21.0km付近)における堤防決壊等に伴う氾濫により、常総市の約1/3の面積に相当する約40km²が浸水し、常総市役所も孤立した。



近年の水災害(その7)

近年の我が国における内水氾濫

○近年、時間雨量50mmを超える局地的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)等の頻発により、全国各地で内水氾濫が発生。

■近年の内水氾濫等による被害(例)



平成20年8月 愛知県岡崎市等
時間最大雨量: 146.5mm/h
床上2,669戸、床下13,352戸



平成22年7月 福島県郡山市
時間最大雨量: 74.0mm/h
床上62戸、床下141戸



平成24年8月 大阪府寝屋川市
時間最大雨量: 143.0mm/h
床上1,403戸、床下5,732戸



平成25年8月 大阪府大阪市
時間最大雨量: 67.5mm/h
床上41戸、床下1,279戸



平成25年9月 愛知県名古屋市
時間最大雨量: 108mm/h
(床上251戸、床下4,975戸)



平成26年8月 愛知県名古屋市
時間最大雨量: 104.5mm/h
(床上16戸、床下54戸)